

かけはし

常総市議会だより



目次

Page 2-3

かけはしインタビュー
石下天神ばやし保存会

Page 4-10

かけはし一般質問
6月定例会議

Page 11-12

審議案件と結果
6月定例会議
7月随時会議

Page 13-15

学校給食センター視察
永年勤続表彰・感謝状
議長の会議等の出席報告
市内中学校への出前講座

Page 16

常総橋百景
「第二十三景 豊水橋」
9月定例会議予定

No.255

発行月：2026年8月
責任者：常総市議会議長
編集：議会広報委員会
発行：常総市議会
0297-22-0318
www.city.joso.lg.jp

動画でみる
常総市議会



かけはし インタビュー



倉田副会長



飯田会計

市議会 × 石下天神ばやし保存会

議会

石下天神ばやし保存会の発足の歴史・きっかけについて教えてください。

石下天神ばやし保存会(以下、保存会)

石下天神ばやしは、狐・天狗・おかめ・ひよっとこ・獅子などのお面を着用して舞うのに合わせて、笛や太鼓などを使って奏でられる神楽囃子(かぐらばやし)です。今から約700年前、京都の北野天満宮から原宿天満宮が分祀(ぶんし)され創建された際に始められたという説がありますが、正確な記録は残っていません。明治時代以降、日清・日露及び第二次世界大戦などでしばらく活動を停止していましたが、昭和48年頃に石下の盆踊り(現在の常総将門まつり)に参加しようという話がきっかけとなり、地元有志の手によって復興され、保存会の活動が始まりました。平成2年には、市の無形民俗文化財に指定されています。

活動を再開した当初は、お囃子(おはやし)に必要な太鼓などの道具もなく、他の地域で活動している団体から借りてきて練習を行うなど、苦勞が多かったと聞いておりましたが、その後は地域の多くの方々から寄付を頂いて、活動を継続していくことができています。

議会

石下天神ばやし保存会の設立からこれまでの活動内容について教えてください。

保存会

活動内容としては、再開するきっかけにも



玉地区祇園祭でのお囃子の様子



玉文化センターでの練習風景



石下天神ばやし保存会の皆さん

上段 増田さん 生井さん 浅野さん
下段 斉藤副会長 倉田副会長 飯田会計

なった石下の盆踊り（現在の常総将門まつり）や原宿天満宮の祭礼や玉地区祇園祭、老人ホームの慰問なども行っています。毎年、原宿天満宮で行われる元旦祭と1月25日の初天神祭では舞を奉納しています。過去の活動の中には、昭和54年に、伊勢神宮神楽殿の竣工式典に関東甲信地区の代表として招待を受け、舞を奉納したのをはじめ、昭和60年のつくば万博では、茨城県のパビリオンでお囃子を披露したという記録も残っています。

現在、保存会の活動の一環として、地元小学校に定期的に出向いて、石下天神ばやしの普及活動も実施しており、一緒に活動に参加してくれる子どもたちも出てきています。

議会

活動を続けてきて良かったこと・やりがいを感じる瞬間について教えてください。

保存会 浅野さん

地元の老人ホーム・ハーモニーに伺い、皆さんにお囃子の演奏を聞いてもらって、すごく喜んでくれた時に、これまで活動してきてよかったなと感じました。

保存会 生井さん

私は最近地元に戻って活動を始めたのですが、やはり地元の祇園祭で獅子舞を踊って、多くの人に見てもらえ

た時に、凄くやりがいを感じました。

保存会 増田さん

私も祇園祭などで、地域の方々をはじめ、多くの方に活動を見てもらえた時に、やりがいを感じますね。

保存会 斉藤副会長

私は、小学4年生から活動をスタートしました。現在は仕事の関係などもあり、あまり練習には参加できていないのですが、お祭りに参加すると毎回新しい子が増えていて、保存会の活動がしっかりと広がっていると感じますし、嬉しいことだなと思います。

議会

伝統芸能を次の世代に継承していくことの必要性や今後の展望について教えてください。

保存会

活動を次の世代に継承していくことはとても重要なことだと思うと同時に、簡単なことではないなと常々感じています。長らく活動を停止していた石下天神ばやしを、昭和の時代に我々の先輩方が復活させて、現在が2代目になりますが、ここで途切れさせるわけにはいかないという思いで、3代目、そして4代目へと、若い世代に活動が継承されていくよう、地域の皆さんの協力を得ながら、今後ますます盛り上げていきたいと思っています。

（令和8年5月インタビュー）

※【注釈】神楽囃子：神社の祭礼等を行う際に舞を奉納するのに合わせて演奏されるお囃子

聞きたい 知りたい まちのこと 市政のこと

常総市議会映像配信中!! <https://joso-city.stream.jfit.co.jp/>



※内容は発言議員本人からの寄稿によるものです。

議員

入湯税の概要について伺う。

総務部長

鉾泉浴場における入湯に対して、入湯客個人に150円の税を課するものである。

議員

県内の入湯税の課税状況について伺う。

総務部長

県内44市町村のうち29の市町村で規定が定められている。

議員

課税免除の根拠について伺う。

総務部長

国が示す6項目の課税免除要件のほか、当市の入湯施設の状況や近隣の課税免除の状況を踏まえ検討した結果、12歳未満の者の入湯、共同浴場・一般公衆浴場に入湯する者、日帰り入湯する者の3項目を課税免除とすることにした。

議員

日帰り入浴を課税免除としたことで、税収が上がらないことが適当なのか伺う。

課税課長

日帰り入浴施設は、国が示す一



柴 典明 議員

答 弁 質 問

日帰り入浴の課税免除について伺う

今は継続の考えだが、今後の情勢の変化に伴い、再検討したい

柴議員の質問動画



般の鉾泉浴場入湯料金と比較し著しく低く定められているので、当てはまるものと考え条例に定めた。

議員

今後の入湯税課税についての考えを伺う。

総務部長

市内の入湯施設は、課税免除要件に該当する施設であるため、入湯税が発生していないことは承知している。制定の経緯を踏まえ、現行の規定を運用していきたい。

市長

温泉街がある自治体は、温泉施設周辺の公共インフラ維持の財源に入湯税は無くしてはならない。一方で、日帰り温泉では入湯税まではといったアドバイスを受けたこともあり、今の形で制度を継続するが、今後の情勢変化に伴い再検討していきたい。

議員

条例が制定され、その運用が始まったからこそ、今後の在り方について、議論の機会が生まれたものと考えている。公平性や受益者負担、そして地域振興の観点から検討を重ねていただきたい。



塚本 治男 議員

答 弁

質 問

常総市むすびまちを中心としたIC周辺
開発の今後のまちづくりについて
むすびまちの成功を戦略的に
土地利用や新産業投資へ繋げていく

常総市むすびまちを中心としたIC周辺
開発の今後のまちづくりについて

塚本議員の
質問動画



議員

道の駅常総は、圏央道常総ICに隣接する地理的優位性を生かし、本市の玄関口として多くの来訪者を呼び込んでいる。市はこのエリアを「むすびまち」と命名し、アグリサイエンスバレー常総構想とともに将来の発展拠点として位置付けている。今後は、IC周辺の開発拡大を総合計画や都市計画マスタープランへ明確に位置付け、「むすびまち」を核としたまちづくりを進めることが重要と考える。そこで、「むすびまち」を設定した動機と市民の認知状況について伺う。

産業振興部長

「むすびまち」はヒト・モノ・コトを結ぶ交流拠点との思いで命名し、広報やHPなどに掲載している。

議員

今後の常総IC周辺開発の拡張を見据え、非線引き都市計画区域である石下方面への商業機能や産業機能の開発拡大の可能性はあるか。

都市建設部長

国道294号沿道は農振農用地で土地利用転換が困難なエリアだが、都市計画や農業政策、政策調

整の各部門と共に、国道294号沿道の可能性を最大限に生かせる土地利用方針の調査・研究を行う。

議員

IC周辺開発の税収・道の駅のロイヤルティの再投資の考え方は。

市長公室長

開発事業による税収は一般財源として市全体へ還元している。道の駅のロイヤルティは公共施設整備基金へ積み立て、その割合は指定管理更新時に協議していく。

議員

むすびまちを交流・滞在・定住を生む新たな都市拠点として育て、石下方面への展開やアグリロード延伸、小貝川架橋を見据えた将来像を市長に問う。

市長

むすびまちの効果様々につけていくため、常総西スマートICや新産業団地、アグリロード延伸など将来の成長分野へ投資を進める。

議員

道の駅を拠点に国道294号沿道や石下方面の発展、アグリロード延伸、小貝川架橋へつなげることで常総市の未来を築く鍵である。



吉原 晴照 議員

答 弁

質 問

情報システムの現状とDX化の
推進について
情報化推進本部として、これからの
DXの推進を加速していく

情報システムの現状とDX化の
推進について

吉原議員の
質問動画



議員

パソコンを利用する系列と台数について伺う。

総務部長

パソコンを利用するシステムや取扱うデータに応じて、基幹系、情報系、インターネット系及びテレワーク用の4種類に分けて、全体で984台配置している。

議員

システム改善について、各部門からの要望は年一回まとめて、電算ヒアリングを行っている。総合的に評価をし、担当部門へ技術的サポートをしているが、システム改善の要望は、その都度受付をして、業務に支障をきたす内容であれば、即対応すべきである。また補正予算の必要性も含めて検討すべきと提案する。

デジタル推進課長

各課とのヒアリングは、主に翌年度の予算によるシステムの改善や新規システムの導入を想定した対応になる。現在、緊急性のあるトラブルの発生はないが、業務に支障をきたす問題が発生した場合、補正予算を含めた柔軟な対応

を考えていく。

議員

DXはデジタル情報の推進を図るためには重要な課題である。今年度のDX計画について伺う。

総務部長

今年度新規に実施予定の主な事業は、保育施設支援システム、幼稚園業務支援システム、情報連携用サーバーなどの導入である。

議員

DX化の推進は重要なので、最高情報統括責任者である副市長から、今年度の推進方針について伺う。

副市長

令和6年度から5か年計画で進めている常総市DX推進計画は、今年度が中間年度になり、これまでの進捗を確認し、先進自治体の事例も参考にしながら、未解決の分野の課題への対策、今後の方向性について、推進本部で示した上で行政事務の改革を的確に進める。

議員

近隣市のDX化の進捗を参考にDX化の推進を要望する。



石塚 剛 議員

質問

家庭ごみの出し方について

答弁

引き続き、引き続き、地域の課題解決に努めて

石塚議員の質問動画



議員

ごみ集積所数、苦情内容を伺う。
産業振興部長

ごみ集積所登録数は、北海道地区で約900か所、石下地区で約600か所がある。集積所の苦情は、昨年度実績で北海道地区257件、石下地区182件あり、未回収や衛生面、集積所設置やマナーに関する相談などが主であった。自治会未加入者や、日本語理解が難しい外国籍の方のごみ出しの問合せ等が多い傾向となっている。

議員

自治会未加入世帯、外国籍の方が関連する苦情の現状を伺う。
生活環境課長

自治会未加入世帯や、外国籍の世帯については、ごみ出しルールの周知が不十分で、誤った排出による未回収ごみの苦情や集積所付近のごみの散乱が発生している。

議員

ごみ集積所及びごみ出しルールなど、今後の取り組みを伺う。
産業振興部長

引き続きごみ出しルールの周知徹底、多言語案内の充実を進め、

地域住民と連携し啓発活動を行う。企業や外国人支援団体等とも連携し、ルールを直接説明する機会を設けることなども不可欠である。

議員

ごみ収集車にカメラを設置し集積所の監視や不法投棄を情報発信するシステムの導入、また集積所の状況を地域住民がLINE等で通報する仕組みの導入を提案するが市の考えを伺う。

生活環境課長

収集委託業者や関係機関と協議し効果的な施策を検討していく。

議員

多文化共生の観点から、今後の取り組みを伺う。
市民と共に考える課長

本市は47か国の外国人が居住し、ガイドブックの作成、動画配信や看板などで啓発してきたが、ルール定着に限界がある。今年度、外国人のキーパーソンを発掘・連携により住みやすい地域づくりを目指す、多文化共生を推進していく。

議員

引き続き、地域の課題解決に努めていただくようお願いする。

議員

本事業の現在の状況とこれからの整備計画予定について伺う。
都市建設部長

基本方針として、産業団地開発、鬼怒川ふれあい道路整備、圏央道スマートインターチェンジ整備、防災拠点整備の四つのプロジェクトを相互に連携させて付加価値のある産業拠点の形成を目指すものであり、新産業団地の整備計画として大生郷工業団地北部の三菱マテリアル北側から県道高崎坂東線及びアグリロードまでの大生郷・古間木エリアの約37ヘクタールの区域において検討している。

今年度は地権者との合意形成を図る予定であり、今後の見通しとして、令和10から11年度頃までに許可取得及び造成工事に着手、令和13年度から14年度頃に造成完了し、順次企業誘致を進めていく。

議員

整備計画を進めていくにあたり、現時点での課題認識について伺う。
都市計画課長

優先的事項として、①地権者との合意形成と地域全体の事業への



草間 典夫 議員

質問

大生郷工業団地北部地区の産業団地整備計画について

答弁

地域の発展をけん引し、産業振興の中核となる企業の誘致を目指す

草間議員の質問動画



理解、②事業採算性と適切な区域の設定、③インフラ整備の確実な推進を重要な課題と認識している。

議員

雇用創出の効果の見込みと、地元雇用の確保に向けた考え方を伺う。また、周辺地域への環境の配慮や地域住民との共生について伺う。
都市建設部長

工業統計調査の1ヘクタール当たりの雇用密度により算定すると、約数百人から千人規模の新規雇用が創出される。また、若年者の正規雇用を促進するために市の雇用促進奨励金制度を活用し、地元雇用の確実な拡大につなげていく。

地域住民との共生は重視すべき観点であり、市や民間開発事業者と対話・協議を行うための地権者組織を設立し、地域と共生・調和する持続可能な産業団地を目指す。

議員

本事業を当市の持続的な成長につなげていくためにも、企業誘致の強化に加えて雇用の質や地元定着への視点、地域との丁寧な合意形成などを重視しながら総合的に推進していくことを強く求める。



岡野 一男 議員

質問
現在運行しているJOYBUS
は市民ニーズに沿っていない

答弁
運行ルートの集約を段階的に行う

岡野議員の
質問動画



議員

過去2回にわたりJOYBUSについて質問をした。市民希望のバスの運行であったが利用者が少ないということで質問した。執行部は検討を重ね、見直しを行って令和7年度に再スタートした。運行状況と利用実績を尋ねる。

都市建設部長

令和7年度は年間で9683人、1日当たり約27人であった。

議員

1日当たりの利用者について、令和6年度は30・55人、令和7年度は26・97人であり、改善したのに3人減は大きい数字。実績を見るとバス事業は市民から見放されているのではないかと感じてしまうが。

都市計画課長

30人に対して3人減は約1割で大きな数字と捉えている。今後、JOYBUSは利用者の多い地区を集中的に運行し、ドア・ツー・ドアで運行しているふれあい号は車両を拡充していく形で再編していきたいと考える。

議員

市民の方が望む公共交通の姿は

ドア・ツー・ドアである。利用者の低迷は、市民ニーズの的確な把握や、市民ニーズに沿った行政サービスを提供していないことが最大の要因であると思う。広報常総4月号には今年の秋から来春にかけてJOYBUSとふれあい号について見直し・再編を行う予定であると掲載しているが、見直し・再編の内容を伺う。

都市建設部長

本年9月からJOYBUSの運行ルートの集約を段階的に実施することや、10月からふれあい号の車両を1台増車をすることを予定している。

議員

他市で行っている「公共ライドシェア」を第三の公共交通として検討してはどうか。

都市計画課長

公共ライドシェアを導入する場合の課題として、交通空白地帯の設定やドライバーの確保などがある。引き続き、本市に合った交通モードの検討を行っていく。

議員

前向きな検討をお願いしたい。



柳井 真吾 議員

質問
不登校児童・生徒の多様な学び
の場の保障について

答弁
児童生徒が安心して、登校できる
環境づくりに努めていく。

柳井議員の
質問動画



議員

当市の小中学校における不登校児童生徒数を伺う。

教育部長

市内小中学校の不登校児童生徒数については、令和7年度末で、小学校児童が31名、中学校生徒が79名の合計110名である。令和6年度末と比較すると、小学校児童が2名、中学校生徒が19名の計21名増加している。

議員

私は不登校の児童生徒数が増加していることは、悪いことだとは考えていない。不登校の子どもたちが多くても少なくても、その子どもたちに寄り添い、子どもたち一人一人が、多様な学びの場で学べるのが大事だと考えている。

夜間学級へ学びの多様な学校を併設すれば、起立性調節障害などの理由で、夜しか学べない生徒へ学びの場を保障することができる。学びの多様な学校の夜間学級への併設の進捗について伺う。

教育部長

同一校舎に併設することは、現状では数多くの課題があり、かな

りの困難を伴うものと考えている。今後、不登校児童生徒へのニーズ調査などを実施し、現状の把握に努めるとともに、多様な学びの場の保障についても継続して研究していきたい。

議員

では、どのようにして、昼間の活動に参加できない、夜しか学べない学齢期の生徒の学びの場の保障をするのか。松戸市では、既存の不登校支援メニューに夜間学級を追加し、教育支援センターのハブ機能を使って、夜間学級に適した生徒、昼間の活動に参加できない生徒の接続を行っている。対象生徒に対して教育支援センターと夜間学級、そして在籍校をつなぐ役割であるコーディネートを設置し、伴走支援を行っている。これから松戸市と同じように、教育委員会がコーディネートとして、かしのきスクールと夜間学級、そして在籍校をつなぎ、昼間の活動に参加できない生徒のために、学びの場として水海道中学校夜間学級を活用することはできないか。松戸市を参考に、検討をお願いする。



入江 赳史 議員

質問

児童生徒の安心・安全な育成
環境づくりについて

答弁

関係機関との緊密な連携体制を
整えている

入江議員の
質問動画

議員

SNS上において、「つらいのであれば無理に学校に行かなくてもよい」、「学校に行くのがつらい場合は図書館などを利用してよい」といった投稿が見受けられるが、学校でどのような指導をしているのか。

教育部長

児童生徒が学校への登校がづらいなど、登校をしづっている様子が見られた場合には、無理に登校を勧めることはなく、学校生活に適応するための学びの場を選択できるようにしている。引き続き、児童生徒の状況に応じた学習の機会を保障する取組みを推進していく。

議員

この場を借りて、小中学校に通っている児童生徒は、苦しいときは先生や周りの大人にぜひ相談をしてほしいということをお伝えしたい。

学校現場において性自認や性的指向など、ジェンダーに関する指導がどのように行われているのか。

教育部長

講習会や道徳の授業で性的マイ



ノリティーに関する内容を取り扱うなど、児童生徒自身が、その他の個性の尊重や多様性を認め合う人間関係づくりについて、気づくことができるように努めている。

議員

子どもの権利条約第2条、差別の禁止が定められているが、常総市の教育行政において、子どもの権利条約の理念に基づいた教育が行われているという認識でいいか。

教育部長

子どもの権利条約の理念に基づいた人権尊重の視点に立った教育活動を充実させ、展開している。

議員

児童生徒のみならず、全常総市民の人権を加害行為から守っていただくようお願いする。

議員



茂田 信三 議員

質問

物価高に沿った
住民本位の施策を

答弁

理解を得るよう努力する

茂田議員の
質問動画

議員

議長、事務局に申し上げる。日本語が公用語であるから皆が理解出来る言葉を使うこと。アンカー企業と答弁しても、ほとんどの議員は解らない。「アンカー」の語源は船のいかりであり、中核という意味。是非開かれた議会を。一般質問は中学生でも理解出来るような答弁を要望する。

さて、常総市の指定銀行である筑波銀行へいくら支出しているか。

会計管理者

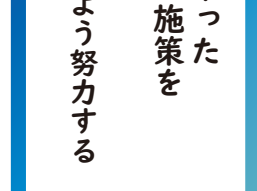
年間447万7千円である。

議員

約束の不履行である。それまで常陽銀行の独占であったので、競争の原理が働かないから当時の筑波銀行も入れるように一般質問をした。当時常陽銀行が一社だったのを、手数料を無料にするから是非指定銀行へ入れてくれとの筑波銀行のお願いであった。当時筑波銀行は資本増強を行い、自治体の指定銀行となつて、より強い信用とステータスを得た。その後マイナス金利もあり年間2ヶ所で440万

円の支出はやむを得ないと思った。

議員



茂田 信三 議員

質問

物価高に沿った
住民本位の施策を

答弁

理解を得るよう努力する

茂田議員の
質問動画

議員

しかしR6年8月に金利が0・25パーセント、R7年に0・75パーセント、間もなくパーセントになるのは間違いない。このような状況において年間440万円、10年間で4400万円の支出は法外である。監査委員からの指摘、議員からも指摘されている。早速廃止をしなければ当初の約束と違う。金融機関は約束の上で成り立っているのではないか。筑波銀行には定期預金36億、普通預金32億円ある。各銀行も今期は過去になく利益を計上している。筑波銀行も合併以来最高益を更新している。

会計管理者

茂田議員からのご助言もあり、短期の定期で運用している。議員の意見を参考にして、派出所の在り方を考えていく。

議員

30億円以上かかるスマートインタールより、側溝のふたや学校の建て替え、公共施設のメンテナンス、福祉・教育の充実のほうを優先すべきである。

都市建設部長

市民理解を得るよう努力する。



中島 義昭 議員

質問
吉野公園へらぶな釣り場の
管理・運営について

答弁
どのようでしたら、来園者が増える
か検討している

中島議員の
質問動画



議員

週末の釣り会や釣りクラブの例
会の予約制度や、優先入場制度の
導入などを提案するが、市の見解
を伺う。

商工観光課長

例会の方を優先入場させるこ
とは可能と考えている。現在の運
営管理はシルバー人材センターへ
委託している。今後、近隣施設に
おける入場の仕方や対応などに
ついて調査し、シルバー人材セン
ターと協議を行う。

議員

現在、食事をするための十分な
スペースがない。今後、食堂の建
設予定やお昼の注文販売を行う予
定はあるか。

商工観光課長

公園利用者に以前アンケートを
取った際には、食堂復活を望む声
が多数あった。しかし、吉野公園
の近年の利用者数は一万人程度な
ので、利用状況を鑑みると食堂の
設置は難しいと考える。なお、注
文販売については、地元飲食店の
協力などが得られれば可能と考え
る。運営管理しているシルバー人

材センターと協議を行う。

議員

過去に、アオコの大量発生によっ
て全く釣れなくなったため、釣り人
が来なくなったと聞いている。公
園の水質管理について伺う。

商工観光課長

水中の酸素拡散や水流を作るた
めに水車を4基設置しているが、令
和5、6年度に南側の水車が故障
し、アオコが大量発生した。令和
7年度に水車を修繕し、水の循環
を確保している。

議員

市長に吉野公園の未来、展望に
ついて伺う。

市長

庁内でプロジェクトチームを組
み、吉野公園及び周辺をどのように
していくか、しっかりとした計画
を立てていく話を今も進めて
いる。地元の皆さんの意見もしつ
かりと尊重しながら、民間の知恵
を生かすやり方も含め、しっかりと
議論をして報告する。

議員

吉野公園を中心に発展していく
ことを期待する。



堀越 道男 議員

質問
「水海道まんなかセンターみつか
る」の使用料が高いのでは

答弁
適正な受益者負担の考えのもと
使用料を設定した。

堀越議員の
質問動画



議員

5月30日にオープンした「水海
道まんなかセンターみつかる（交
流センター）」の使用料と染谷工務
店から建物を賃貸借する詳細につ
いて伺う。

教育部長

「みつかる」の令和8年度分の賃
貸料は交流センターが901万4
535円、水海道児童センターが
599万9910円である。

交流センターの1時間当たりの
各使用料は、オープングャラリー
が2200円、多目的ルーム①及
び②が1800円、研修室①及び
③が800円、研修室②及び④と
クッキングスタジオ（調理室）が
700円である。

議員

生涯学習センターの使用料と比
べ、利用料金は法外な高い値段だ
と言わざるを得ない。

生涯学習課長

「みつかる」は、多世代交流、地
域活動及び生涯学習の拠点である
が、これまでの自治体が所有する
公共施設とは、整備手法や管理運
営の条件も異なっている。民間活

力を活用し、建設費の初期投資を
抑制しつつ、施設の維持管理経費
や運営形態（指定管理者）などを
総合的に勘案し、適正な受益者負
担の考え方に基づき、使用料を設
定した。

議員

官民連携での建設により市の負
担が3億円安くなったとの報道が
あった。建物は安くなったが、利
用料金が高く、適正な受益者負担
だと言うが、利用者に負担を増や
すことは甚だ本末転倒である。

今まで利用していた社会教育団
体を利用する場合はどうなるのか。

生涯学習課長

これまで公民館を利用されてい
た社会教育団体は、活動内容を個
別に確認し、80団体については全
額免除となっており、営利を目的
としないサークル活動や学習活動
については、これまで同様に活動
できるよう配慮していく。

【その他の質問】

★中学校での対外活動の交通手段
について

★部活動の地域移行について



佐藤 剛史 議員

質問

常総市における地域コミュニティ協議会について問う

答弁

活動状況や財政状況を踏まえ、制度見直しを検討する

佐藤議員の質問動画



議員

守谷市の活動支援交付金の額は、均等割額が100万円、人口割基本額が100円掛けるその地区の人口、そして地区敬老行事費として敬老会等の行事に対する経費が850円掛ける地区内の75歳以上の人口、また、今年度から分野別交付金というものが設定された。この分野別交付金は、物価高騰に対応するための追加の交付金の創設である。常総市においても、今後協議会の活動が活発になった際には、現状の補助金額では足りないと考え、将来的には拡充などの考えがあるのか。

市民と共に考える課長

当市における現在の補助金額の設定については、全国の地域運営組織を対象とした財政支援の動向や、類似する自治体規模の先進事例などを十分に勘案し算定・設定した金額である。今後においては各地域コミュニティ協議会の具体的な活動状況や財政需要の推移を注視しながら、補助金額の適正化を含めた制度内容の見直しについて柔軟に検討を進めてまいりたい。

議員

守谷市の中でも予算規模が大きい北守谷地区の協議会は、構成員が106名、地区人口が1万6689名で、先ほどの4つの補助メニューの予算総額が561万9千円である。また、みずき野地区の協議会は、構成員が18団体、地区人口が4609人で、予算規模は287万8千円だが、この特筆すべき点は、地域に高齢者の方が多いため、地域内で移動支援をする互助輸送を行っており、市が公用車を貸出し、車の保険、ガソリン代等も市で交付している。このような取組は行政側の人的、財政的負担も軽減されると考えるが、改めてこのようなサポートの必要性について考えを問う。

市民と共に考える課長

取り組むべき課題が地域ごとに多様であるからこそ、定期的な対話の場づくりが重要である。地域住民の皆様が集い、課題を共有し、話し合うプロセスを大切にしながら、明確になった地域の困りごとに対して具体的な取組が円滑に推進できるよう支援してまいりたい。

議員

坂手町でヤード火災のあった周辺の事業者の数と面積を伺う。

産業振興部長

事業所の工場数は類似を含めて16か所、面積は約7万平方メートル程度で、会社数は5社である。

議員

重機に日本では使わない漢字の会社名が書かれている。立ち入りの際、日本語は通じるか。

生活環境課長

スマホの翻訳アプリを使っており、通訳の同行はない。

議員

火災の原因、黒煙の物質、騒音による影響と損害を把握しているか。

産業振興部長

7回の火災の内、2回はリチウム電池によるもので、あとは不明である。有害大気汚染物質測定の結果、健康に影響はない。夜間の騒音については、現地を確認し対応している。費用は、大気測定約29万円、土壌分析約41万円、防塵マスク約4万円、職員の時間外手当約8万5千円、消防団費用弁償及び燃料代は約112万円支出している。



小林 剛 議員

質問

再生資源物屋外保管場（ヤード火災）条例違反には厳しく対応すべき

答弁

茨城県条例に基づき、許可の取り消しが定められている

小林議員の質問動画



議員

令和元年、鎮火まで13日間要した火災の常総広域消防の経費はいくらか。

生活環境課長

時間外勤務、管理職手当、破損したホースの更新、車両の修繕、燃料代などで総額2133万円である。

議員

営利を目的とし、条例にも従わず何度も火災を起こしている。罰金というか、請求しても良いのではないか。今後どのような場合に許可の取り消しがあるのか。

産業振興部長

県条例に基づき、改善勧告に従わない場合、改善命令や使用停止許可の取り消しが定められており、当該許可に不正があった場合に、県が許可を取り消すこととなる。

議員

市民に負担、迷惑をかける事業者に対して、県には厳しい条例に変えてもらわないと困る。県の許可であり地元選出の県議会議員にも条例改正に力を尽くしていた、安心して暮らせる常総市を作っていかなければならない。

令和8年6月

定例会議 審議案件と結果

議案番号	議 案 名	内 容	審議結果
議案第1号	財産の取得について	指名競争入札を行った消防ポンプ自動車の取得について、予定価格が議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例に定める額を超えていることから、落札者と仮契約を締結したので提出するもの	可決
議案第2号	常総市行政手続条例の一部を改正する条例について	デジタル社会の形成を図るための規制改革を推進するためのデジタル社会形成基本法等の一部を改正する法律による行政手続法の改正に伴い、公示による送達の手法を法に準拠した内容に改める改正を行うもの	可決
議案第3号	常総市児童館の設置及び管理に関する条例及び常総市水海道交流センターの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について	水海道児童センター及び水海道交流センターの敷地について、土地管理の適正化及び資産管理の効率化を図ることを目的として合筆を実施したことに伴い、関係する各設置条例の所在地規定を整理する改正するもの	可決
議案第4号	財産の取得について	指名競争入札を行った玉学校給食センターに設置する食器浸漬装置及びコンテナ洗浄機の取得について、予定価格が議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例に定める額を超えていることから、落札者と仮契約を締結したので提出するもの	可決
議案第5号	常総市火入れに関する条例の一部を改正する条例について	常総市地方広域市町村圏事務組合火災予防条例及び茨城西南地方広域市町村圏事務組合火災予防条例の一部改正に伴い、火入れの中止に関する要件に、林野火災注意報等が発令された場合を加える改正を行うもの	可決
議案第6号	市道の路線の廃止について（3003号線）	大塚戸町地内の路線について、隣接する民有地と一体となり、道路としての機能を有しておらず、当該路線に隣接する土地の所有者から払下げの要望があることから、その認定を廃止するもの	可決
議案第7号	令和8年度常総市一般会計補正予算（第1号）	補正予算の増額分 4億9,575万6,000円 補正予算後の総額 272億9,775万6,000円	可決
議案第8号	令和8年度常総市一般会計補正予算（第2号）	補正予算の増額分 8,080万9,000円 補正予算後の総額 273億7,856万5,000円	可決
議案第9号	脳脊髄液漏出症医療改善に関する意見書提出について	請願第1号の採択により、議会としての意見書を提出するもの	可決
議案第10号	常総市農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて（横倉俊行氏）	令和8年7月30日をもって任期満了となるため、任命するもの	可決
議案第11号	常総市農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて（倉持和子氏）		可決
議案第12号	常総市農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて（長塚和実氏）		可決
議案第13号	常総市農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて（結束隆司氏）		可決
議案第14号	常総市農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて（荒木正治氏）		可決
議案第15号	常総市農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて（石塚勝氏）		可決
議案第16号	常総市農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて（渡辺圭祐氏）		可決
議案第17号	常総市農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて（井沢利行氏）		可決
議案第18号	常総市農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて（倉持治氏）		可決
議案第19号	常総市農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて（高橋敏明氏）		可決
議案第20号	常総市農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて（山口喜輝氏）		可決
議案第21号	常総市農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて（石嶋照夫氏）		可決
議案第22号	常総市農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて（塚原照市氏）		可決
議案第23号	常総市農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて（中荃芳幸氏）		可決
議案第24号	常総市農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて（小林操氏）		可決
議案第25号	常総市農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて（増田亮氏）		可決
議案第26号	常総市農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて（浅野清氏）		可決

議案番号	議 案 名	内 容	審議結果
議案第 27 号	常総市農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて（飯塚宗男氏）	令和 8 年 7 月 30 日をもって任期満了となるため、任命するもの	可決
議案第 28 号	常総市農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて（古谷克美氏）		可決
請願第 1 号	脳脊髄液漏出症医療改善を求める意見書を国及び茨城県に提出することを求める請願書	・県内に脳脊髄液漏出症患者が施設基準の整った環境で安心して治療が出来る拠点となる病院を整備し確保すること ・厚労省においては国の研究機関で難治性の患者の診断基準の確立を急ぎ、治療方法の開発研究をし、全国の治療体制を抜本的強化をすること、更に難治性の長期疾患患者を指定難病へ追加する事を要望する旨の意見書を国へ提出すること 以上の件に係る意見書を国・県へ提出することを求めるもの	採択
陳情第 1 号	石下総合運動公園多目的グラウンド（広場）の人工芝化に関する陳情書	石下総合運動公園多目的グラウンド（広場）を、日本サッカー協会（J F A）等の公式戦基準を満たす人工芝グラウンドとして整備することを求めるもの	趣旨採択
推薦第 1 号	常総市各種委員の推薦について	教育委員会教育長より推薦を求められたため、推薦するもの【学校給食センター運営委員会委員】吉原 晴照、入江 昶史、坂巻 文夫	推薦

※議長は採決に加わらない

《会議の欠席等の状況》

6 月 5 日 【本会議】(欠席)中村安雄

建設経済委員会の附帯意見

補正予算に対し

意見を述べました

議案第 7 号 令和 8 年度一般会計補正予算（第 1 号）の審議にあたり、水海道地区市街地まちづくり事業費については、次の 3 点に留意して事業を進めるよう、意見を述べました。

- ① 解体費用の算出根拠が同一の平米単価で積算している。各建物の構造に応じ適切に解体費用を算出すべき。
- ② 今後建設予定の保健センターの面積や配置によっては、杭の残置等も検討すべきであり、解体工事と分離しての発注を検討すべき。
- ③ 水海道地区市街地まちづくり事業は、多額の資金を投入して実施する事業である。適切に議会へ明瞭かつ詳細な説明の報告を求める。



令和 8 年 7 月

随時会議 審議案件と結果

議案番号	議 案 名	内 容	審議結果
議案第 29 号	令和 8 年度常総市一般会計補正予算（第 3 号）	補正予算の増額分 2,360 万 1,000 円 補正予算後の総額 274 億 216 万 6,000 円	可決

※議長は採決に加わらない

《会議の欠席等の状況》

7 月 17 日 【議員全員協議会、本会議】(欠席)茂田信三

文教厚生委員会

豊岡学校給食センターの視察・学校給食試食会を行いました

令和8年6月11日、文教厚生委員会で豊岡学校給食センターの視察及び学校給食試食会を実施しました。
令和8年3月に市内に2カ所ある学校給食センターの老朽化が懸念されるため、文教厚生委員会から市長と教育長へ「学校給食センターの今後の在り方に関する要望書」を提出しております。

これに伴い、施設の現地確認と調理体制・方法など詳細な説明を受け、実際に調理している現場を視察しました。併せて、児童生徒が毎日食している学校給食の試食をしました。



視察研修の様子



調理現場の見学



学校給食の試食

【本日の給食】

(入梅献立でした)

- ごはん
- 牛乳
- いわしのうめ
- やきにくいため
- にらたまみそ



永年議員勤続表彰



全国市議会議長会及び茨城県市議会議長会では、市議会議員として永年勤続され、地方自治の進展に寄与された議員に対し、毎年表彰を行っております。今年度も、当市議会から3名が表彰されました。

●全国・県市議会議長会15年一般表彰
小林 剛 議員（右）

●全国・県市議会議長会25年一般表彰
茂田 信三 議員（中央）

●全国・県市議会議長会15年一般表彰
倉持 守 議員（左）

前正副議長に感謝状贈呈



茨城県西市議会議長会（会長…風野桜川市議会議長）より、常総市議会前議長の坂巻議員及び常総市議会前副議長の佐藤議員に感謝状が贈呈されました。

●前副議長

佐藤 剛史 議員（右）

●前議長

坂巻 文夫 議員（左）



議長が参加した市内の主な行事をご紹介します。



★第 65 回鬼怒・小貝水防連合体水防訓練
5月31日（日）
常総市が開催当番市となり、議長のほか多くの議員が出席されました。



★第 20 回子どもまつり
5月24日（日）
運動会の前に、子どもたちと一緒にラジオ体操をしました。

議長の活動報告

永年勤続表彰・感謝状

議長の活動報告

その他出席した主な行事

- 水海道まんなかセンター「みつかる」オープン記念式典
- 第 24 回千姫まつり
- 第 16 回常総市健康太極拳まつり
- 第 16 回芸術文化の集い

市内中学校で出前講座を実施

石下中学校、水海道西中学校において、市議会及び市政に関する知識・関心の啓発や、次世代の社会教育及び進路選択を含めた将来に向けての一助となることを目的に、中学校三年生を対象に出前講座を実施しました。

実施後のアンケートにおいて中学生ならではの視点による様々なご意見、感想をいただきました。



石下中学校での様子

●こんなことを説明しています



・市議会議員はどうやってなるの？



・市議会議員はどんな仕事をしているの？



・議会はいつやっているの？



・市の困りごとどうやって伝えればいいの？



水海道西中学校での様子



出前講座についての詳細やアンケートの結果、「市議会を知ろう」説明資料についてはこちらをご覧ください。



常総橋百景

第二十三景

豊水橋

撮影地
水海道元町



**常総橋百景
写真募集中!!**

「かけはし」では、あなたが撮影した常総市の橋百景を募集しています。撮影写真、撮影地、お名前、メッセージ（100文字程度）を添えて左記の住所にご応募ください。スマートフォンから届くサービスもご応募ください。【議会事務局】
〒303-1850
常総市水海道諏訪町3-22-13
☎0297(2)0318



応募フォーム

投稿者
かたの 和弘様

鬼怒川に架かる豊水橋の向こう側で打ち上がる花火を捉えた写真です。闇夜に浮かび上がる豊水橋のトラス（三角形）のシルエットと、色鮮やかな花火が川面に映り、夏のにぎわいが伝わる一瞬を表現しています。

9月 定例会議(予定)

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
		本会議 議員全員協議会		本会議 (一般質問)	本会議 (一般質問)	
6	7	8	9	10	11	12
	本会議 (一般質問)	本会議 (一般質問)	予算・決算 特別委員会	決算 特別委員会	常任委員会 (分科会)	
13	14	15	16	17	18	19
	常任委員会 (分科会)	常任委員会 (分科会)	常任委員会 (分科会)	常任委員会 (分科会)	常任委員会 (分科会)	
20	21	22	23	24	25	26
					予算・決算特別委員会 議員全員協議会 本会議	

※正式な日程は常総市議会ホームページをご覧ください。

常総市議会映像配信中

常総市議会中継が動画で常総市ホームページよりいつでもご覧いただけます。

<https://www.josocity.stream.jfit.co.jp>

常総市議会 中継



LINE facebook X 配信中!

常総市公式アカウントにて、議会の情報を配信します。ご登録をお願いいたします。



市ホームページ



かけはし

広報委員会

委員長：堀越 道男
副委員長：柴 典明
委員：柳井 真吾
中島 義昭
塚本 治男
入江 越史

常総市議会議長
中村 博美

本紙「かけはし」が市議会と皆さまを結ぶ文字どおりの架け橋となり、より開かれた議会を感じていただくよう、今後も広報充実に向けてまいります。暦の上では秋へと向かいますが、皆さまの健康を心よりお祈り申し上げます。



市民の皆さまには、平素より市議会

議長のひとこと